

PERCEVAL 弁に関する研究

1. 研究の対象

2016年1月～2022年12月に当院で大動脈弁狭窄症に対して、大動脈弁置換術を受けられた方

2. 研究目的・方法

人口の高齢化に伴い、大動脈弁狭窄症の有病率が増加しています。治療には大動脈弁置換術が行われますが、胸を開けて行う「外科的大動脈弁置換術」は手術に伴い、体に大きな影響を及ぼしますが、一方で「経カテーテル的大動脈弁置換術」よりも確実な治療が可能となります。「外科的大動脈弁置換術」では、縫合糸で人工弁を体内に固定しますが、近年、縫合糸を必要としない「スーチャレス弁」が使用可能となってきています。この弁の使用により、手術に伴う影響を減じることが可能であり、かつ従来の人工弁よりも良好な弁機能がもたらされることが期待されます。このため、これまで使用されてきた「従来弁」と「スーチャレス弁」の手術と術後成績を比較して、より体に優しく、かつ確実性の高い「外科的大動脈弁置換術」を確立したいと考えています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、心臓超音波検査、CTなどの画像情報、手術歴、術後合併症、退院後遠隔期合併症の発生状況等

4. 外部への試料・情報の提供

行う予定はありません。

5. 研究組織

りんくう総合医療センター 良本政章

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先:

大阪府泉佐野市りんくう往来北 2-23

TEL 072-469-3111

りんくう総合医療センター心臓血管外科

良本政章 (研究責任者)